平成 29 年 度

新庁舎建設に関する特別委員会記録

審 査 ・ 調 査 案 件

1. 新庁舎の機能、規模、予算など新庁舎建設に関する諸問題の調査
-

平成 29 年 6 月 5 日（月曜日）

新庁舎建設に関する特別委員会会議録

平成29年6月5日 月曜日

午後4時00分開議

午後4時35分閉議（実時間35分）

○本日の会議に付した案件

1. 新庁舎の機能、規模、予算など新庁舎建設に関する諸問題の調査
（新庁舎建設事業の進捗状況と今後のスケジュールについて）

○本日の会議に出席した者

委員長 前垣信三君
副委員長 幸村香代子君
委員 亀田英雄君
委員 友枝和明君
委員 成松由紀夫君
委員 野崎伸也君
委員 橋本幸一君
委員 橋本隆一君
委員 古嶋津義君
委員 増田一喜君
委員 村上光則君
委員 山本幸廣君
委員 矢本善彦君

※欠席委員 君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者 君

○説明員等委員（議）員外出席者

財務部長 岩本博文君
新庁舎建設課長 松元真介君
新庁舎建設課副主幹
兼新庁舎建設係長 垣田治嗣君

○記録担当書記 岩崎和乎君
中川紀子君

（午後4時00分 開会）

○委員長（前垣信三君） 定足数に達しましたので、ただいまから新庁舎建設に関する特別委員会を開会いたします。

○新庁舎の機能、規模、予算など新庁舎建設に関する諸問題の調査 （新庁舎建設事業の進捗状況と今後のスケジュールについて）

○委員長（前垣信三君） それでは、特定事件であります新庁舎の機能、規模、予算など新庁舎建設に関する諸問題の調査を議題とし、調査を進めます。

本件について、1件、執行部から発言の申し出がっておりますので、これを許します。

それでは、新庁舎建設事業の進捗状況と今後のスケジュールについてをお願いします。

○財務部長（岩本博文君） こんにちは。「こんにちは」と呼ぶ者あり）財務部の岩本でございます。

新庁舎建設につきましては、ただいま基本設計を進めているところでございます。本日、その基本の具体的なものというところまではお示しできませんので、その点についてはまことに申しわけなく思っているところでございますが、現在取り組んでいる状況等につきまして、担当の新庁舎建設課より説明をさせますので、どうぞよろしく願いいたします。

○新庁舎建設課長（松元真介君） 済みません、まずは私のほうからですね、新庁舎の進捗状況等の説明の前に、ちょっと一言お話をさせていただきますと思います。

新庁舎の建設に当たりましては、委員会御協力のもと、昨年8月に基本構想を終え、できるだけ早い段階でおおよその基本計画案を本委員

会にお示しする予定で進めてまいりましたが、これまで部内外や関係機関との協議、調整等に時間を要しており、いまだ素案を提示する段階には至っていない状況となっております。このことにつきましては、所管課長としまして、まずはおわび申し上げます。大変申しわけありませんでした。

ちまたでは、昨年の熊本地震において市内の日奈久断層帯の割れ残りが指摘されており、大地震が再度、県南地域を拠点として数年以内に発生する可能性があるとも指摘されているところです。また、県内では昨年の熊本地震から1年以上経過した今も、避難所あるいは仮設住宅の生活を強いられている方も多数おられる状況です。新庁舎の建設は、市民の皆様の重要な防災拠点の建設につながるものでありますことから、新庁舎の一日も早い着手、完成を目指し市としましても取り組んでまいりますので、今後とも委員各位の御理解、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

この後、担当係長より進捗状況並びに今後のスケジュール等につきまして、説明を差し上げますのでよろしくお願いいたします。

○新庁舎建設課副主幹兼新庁舎建設係長（垣田治嗣君） 新庁舎建設課の垣田でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、お手元に、今、資料のほうをお届けしておりますので、内容とともに御説明を差し上げたいと思います。

まずは、とじてあります一番上のほうにスケジュールのほうは、1枚あけていただいたところですね、スケジュールのほうを御提示させていただいております。こちらのほうは、今、基本設計のほうを2月から契約をいたしまして、現在作業を進めているところでございます。内容としましては、敷地内の建設予定地に関するボーリング調査ですとか、それに伴う敷地内の木々ですね、それから記念碑、そういったもの

の調査、検討を進めております。それから、ほかに敷地内には、水源地とか、今回は都市計画道路等も予定されております。あわせて文化財等もありますので、そちらの調整等を現在行っているところでございます。一応、完成の目標は12月末としておりますが、これも今の段階です、確定ではございませんで、随時調整をさせていただきながら進めてまいりたいと考えているところでございます。

次に、アドバイザーというものがございす。これは6月以降に一応予定をしておりますが、今回、大学の先生方4名の方をお願いをしているところです。こちらは、1枚めくっていただきますと名簿のほうをつけさせていただいておりますけれども、熊本大学から3名、それから熊本高専のほうから1名ということで、御協力をいただくことになっております。内訳としましては、熊本大学の2人が建築関係、それから、熊本高専の先生が同じく建築関係でございす。熊本大学もう一人の方、田中尚人先生が景観ということで、こちらのほう、今回の八代市としては景観も重視したいということの流れで、アドバイス等いただく予定としております。

スケジュールのほうに戻りますけれども、現在、5月から敷地内の関係で庁舎ですね、被災程度調査等を行っております。これは、現在まだ行っている作業ではございますが、被災度、これはひびとかですね、そういったものの状況調査、それから、解体に至る際にアスベスト等が非常に大変問題になりますので、こちらの調査をかけているところでございます。

同じく5月から、本敷地内のレーダー調査というのをかけております。こちらのほうが、大体、6月末をめどに順次行っていくということですが、これは文化財等ですね、地中埋設物の調査ということで予定をしているところです。今回建設する予定敷地内にはですね、複数の文

化財がある可能性がありますので、こちらも事前に調査をかけた上で、今後の取り扱いに注意したいというふうに思っているところでございます。

それから、一番下にいきますと、市民の御意見ということで、大体、7月ぐらいからワークショップ、それからその後、パブリックコメント等を予定したいと考えております。こちらのほうは、まだ皆様に絵とかもですね、御提示してない状況ですが、今後ある程度の基本構想の絵が出てまいりましたときにですね、こちらの議会のほうに説明した上で、ワークショップそれからパブリックコメント等で市民の皆様に見ていただきながら御議論をいただく予定としておりますので、こちらは適宜開催ということで、実施してまいりたいと考えております。

それから、先ほどの名簿に続きましてもう1枚めくっていただきますと、写真のほうを載せております。こちらのほうは、今、地盤調査をしているところの写真等でございますが、現在、4カ所敷地内で調査を予定しておりますが、3カ所目でございます。もうすぐ4カ所目が入るんですが、それから約2週間程度また時間を要するというと見込んでいるところです。

それから、地中レーダーというのは、こういった形で、レーダーとですね、これは音をたたいて、また二重で探査をして、深いところまで、5メートル程度ですが、そちらのほうまで見て文化財等何か埋設物等がないかという確認作業をしております。

それと、ここに写真はございませんが、これと並行して文化財のほうは試掘調査というのが予定されているようでございます。こちらは、所管課のほう、文化課のほうで対応されるということで、今後、試掘の位置等ですね、確認しながら作業を進めてまいります。

それから、一番下が被災度調査の写真でございますが、こちらは破損したところの現状調査

でございます。どこにどれぐらいということで、箇所を確認した上で、全て記録をとるという作業でございます。こちらのほうが7月末まで一応時間を要するというので、現在、作業を進めております。なるべく急いでということで作業を進めているところでございます。

それから、裏面のほうにいきますと、樹木の移設等の写真をお載せしております。これは、高田みかん、それから晩白柚等ですね、もともと玄関にあった木々については、工事が始まる前に事前に移設をしておかなければならない。これは、実際の業者さんのほうに以前から御相談をした結果、ある程度時間に余裕を見て移設しないと枯れるということで、早目に移動しているところでございます。

それから、下のほうは旧庁舎内の現状でございますが、現在、その調査等が入っておることと並行して、今まで使っていたキャビネットとか机とか、まだ残っているものがございますので、そういったものを集めてですね、今後新庁舎のほうで使うか使わないかの判断、これは、破損しているかということも含めてなんですが、こういったことの調査を進めながら、今現在、準備を行っているところでございます。

次に、今度は敷地の図面のほうをお載せしております。こちらのほうは現在のまだ予定でございます。なぜかと申しますと、ちょっと、敷地内の与条件としましては、右側に出ております都市計画道路、それから、左側に備えております水源地、それから、北側のほうは、今、仮設が建っておりますけれども、こちらのほう、文化財の包蔵地でございます。

今回は、旧庁舎の敷地をベースとして、できるだけみ出さないような形で設計を考えなければならないということがございます。今まで基本構想のほうで、おおよそ1万9000平米程度ということで数字をいただいておりますので、そちらをもとに、現在、計画を進めている

ところでございます。ただ、そういった条件のもとでまだ正確な位置に落とせていないのが現状です。道路等の幅員等も含めれば、もうちょっとサイズが変わってくるようなところも含めてございますので、そういったところには十分注意しながら実施してまいりたいと思います。

今、左側のほうにありますのは、下のほうが旧執務室等の表示でございます。こちらの上のほうが新で、今、久米設計さんのほうが以前提案されたものをベースに検討している段階ですので、これはあくまでもその案としての御表示でございますのでよろしくお願いいたします。

こちらの上と下の図で違うところといいますのは、市民活用スペースというのが、以前の旧庁舎では昔の食堂、それから、市民の情報プラザ、そのほかはロビーということで扱ってまいりました。今回は、基本構想の中でも市民スペースの確保ということで、お言葉、御意見をいただいております関係上、今回左側、上のほうですね、左側のほうには市民活用スペースということで大幅にふやしているところでございます。もともと、1万2000平米ぐらいから1万9000というふうになっておりますが、ほとんどが市民スペースの拡張ということで、現在、こちらにも計算をしながら作業を進めています。

それから、一番最後の用紙になります。こちらのほうは、久米設計のほうも含めてですが、今回八代市が基本設計を業務委託する際に、どうしても必要だということで提示した内容でもございました。これは、建設後のランニングコストを削減してくださいと、できるだけ抑えてほしいということでお話しした内容でございます。今回お手元にお届けしているのは、久米設計さんの提案書から抜粋したものでございますが、いかに効率よくエネルギーの削減をしていくかということでの提案ですので、こういった形で今、1、2、3として表示はしておりますけれども、トータル的に見て、今までの庁舎よ

りもこれぐらい削減が可能ではないかという数字表記でございますので、これが正確かと言われるれば、あくまでも想定範囲ということで御理解いただきたいんですが、右側、ページの右側ですね、中段ごろにありますけれども、年間一次エネルギー消費量等とも、以前の旧庁舎から比べると大幅に削減が可能ではないかというふうな提案がなされているところでございます。今回は、建設費の抑制、それから、こういったもののランニングコストの抑制についても、十分慎重にこちらのほうも考えて、新庁舎の建設を進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

最後に、一応、スケジュールのほうでちょっと御案内しましたけれども、今回、本来であれば皆様のこの特別委員会のある間にですね、ある程度の内容を御提示するのが本来だというふうに思っておりましたが、なかなか調整がつかない部分がございますして、大変御迷惑をおかけしたことをおわび申し上げます。それから、今後につきましては、6月中にでもですね、随時、出されてくる絵とか、そういった内容についてはすぐにこちらのほうにも御報告しながら、できるだけ早い段階で市民の皆様と協議のできる資料をそろえたいと思っております。何とぞ、今後とも御理解と御指導等、よろしくお願いしたいと思います。

以上で説明を終わります。

○委員長（前垣信三君） ありがとうございます。本件について、何か質疑、御意見等はありませんか。

○委員（亀田英雄君） 建設費の抑制、ランニングコストの抑制に努めるという点は、大変評価したいというふうに思いますし、これからも取り組みを進めていただきたいというふうに考えます。その中で3点ほどですね、ちょっと思ったんですが、3000万で解体の工法を決定とかっていうて、入札が不調になっった件の

あったじやなかですか。あの件はどうなっているのかという点について、まず伺いたいと。

この何ページですかね、広か、こん都市計画道路、これはどうにもならない話なのか、こっばどうしても遵守しなければならない代物なのか。これをする事によって、大分こう、何ですか、何か苦労せんばんですね、どげんかならんもんだらうかなっていう。それは素人なりの話です。

もう一つ、その左の図に、今設計会社の案という話だったんですが、あれは結局プロポーザルの業者を決めるだけの話であって、そうではないということを繰り返し申されたというような記憶の中で、これが案というような話だったんですが。その辺に若干違和感を覚えたのですが、違和感なのか、本当なのか、私が間違いなのか等も含めて、ちょっとお話しいただければというふうに思います。

○新庁舎建設課副主幹兼新庁舎建設係長（垣田治嗣君） 御質問いただきました、まず1点目の不調に終わった分の件でございますが、今年の1月に入札をかけた案件といたしますのが、今、御説明してありました内容の中では、こちらの本庁の被害庁舎でございます。当時、県内でも、非常にこういう調査が行われておまして、なかなか業者がいなかったというのが最終的な結論でした。

これは、時期を待ってということで、4月からはですね、業者さんのほうも前年度の仕事を仕上げるということも伺っておりましたので、新年度に入って再度かけさせていただいたということでございます。それもちょっと4カ月ほど遅くなっているということの中に含まれておりますが、今、できる限り早い段階で調査を終えることを目標に頑張らせていただいているところでございます。

それから、2点目の都市計画道路につきましては、こちら、基本構想をする段階から都市計

画道路が含まれているということは把握しておりました。ただ、道路の形状とかですね、そういったものは、まだ余りよくこちらでも理解しておりませんで、敷地の条件としては、設計業者さんとかにはですね、ここには建物が建てられないということだけお伝えして、設計を提案していただいていたところでございます。今回は、ちょっと具体的に道が入っておりますが、これは最近ですね、担当部局とお話をしました中でですね、こういった形が考えられますということで、聞いたところで図に落としているところでございます。今後また、ちょっと建設部のほうとは協議を予定しておりますので、進捗があり次第、御報告を差し上げたいと思います。

それから、こちらに表示している図でございますが、委員おっしゃいましたとおり、当時、提案された図で本物ではないということでお話があったかと思えます。当然ですね、今、提案があったものを表示させていただいているんですが、一応、敷地内はかなり制限がかかっています。先ほどお話しした道、それから水源地、北側の包蔵地、その中でどういかに工夫して建物を建てるかということでの提案だったということで、まずは、それをベースにですね、検討させていただいております。

ただ、今、ボーリング調査等もかけておりますが、こちらは非常に支持基盤がわからない。深いところもありますし、想像どおりのところもありますんで、そちらの調査結果次第ですね、建設が可能かどうかも含めて、今後、調整を図っていきたいと考えております。ですので、これが最終形というものではなくて、今回限られた敷地の中で、どうしたら市民エリアと執務、市民の方が手続等ができる庁舎が建つかという提案、こちらのほうをまずベースとしてちょっと考えさせていただいているところで、その辺ちょっと御理解をいただきなが

らですね、今後出てきた図等で絵等で、また御意見等いただければというふうに考えております。

以上です。

○委員（亀田英雄君） 了解しました。今のよう丁寧ですね、いろんな報告をしながら説明を加えていただけたらですね、いいかと思えます。

○委員長（前垣信三君） ほかにございませんか。

○委員（野崎伸也君） 今の、ちょっと都市計画道路の関係でお聞きます。

今、ちょっと詳しいことはわからないような話だったんですけれども、今、緑で道路整備のほう、ちょっと曲げたような形で整理してありますが、その隣に、右側の総合病院のほうに、少し緩やかな曲がり方で、黒の点線ですね、というのがあるんですけれども。いろいろと狭路の位置関係については、今、検討されてるんだらうと思うのですが、今あります旧道というか、今の現状の道がありますよね。これと合わせて、これに書いてあるとおりの道ができたとしたら、八代市役所の敷地が残りどうなるのか、どやんふうな計画があるのか、ちょっとお聞きしたいというのが1点。まずは、それをお聞きしたいです。

○新庁舎建設課副主幹兼新庁舎建設係長（垣田治嗣君） 今、お尋ねいただきました、都市計画道路が通った場合の病院側の残地ということでございます。以前、私どもが、残地が出る可能性があるという中で、庁内でも専門部会の中で話した時期がございました。これはですね、まだ全然確定でも何でもございませんで、当時の専門部会の話として聞いていただきたいんですが、今ですね、バス通り等のバスの停留関係もですね、非常に不便な点があるということで、御意見があったところもあります。ですので、バスが発着できるような、そういったスペ

ースであるとか、もしくは敷地ですね、大きさによっては何らか提供できる、市の財産として何か貸せるといいますか、そういったものも考えられるんじゃないか。これは職員から以前提案があっていたものでございます。できるだけですね、市の敷地としては結構な面積があると思いますので、今後ですね、具体的に都市計画道路の位置が落ちましたら、残りの敷地としては十分また専門部会等組ませていただいて、活用を検討したいと考えているところでございます。

以上です。

○委員（野崎伸也君） わかりました。また報告いただければと思います。

あと、その左の図面があって、今、亀田委員が言われて答えられまして、あくまでもという話だったんですけれども、あくまでもでちょっと聞くんですけど、この1階部分の面積って何平米あつとですか。これがわかると、大体何階建てというのがわかりますんで、そこを教えてもらってよかですか。

○新庁舎建設課副主幹兼新庁舎建設係長（垣田治嗣君） 今、あくまでも提案ですが、こちらのほうで、大体3000平米程度だろうと思えます。旧庁舎の敷地の上に乗せますので、以前の敷地よりもちょっと広いような感じはいたしますが、かなりですね、道からセットバックしているところ、それから水源地等からですね、引かれた部分を縮めていくと余りですね、変わらないような面積にはなっています。ですんで、高さ的にも同じぐらいというふうな今見方で整えているところではございますが、今後の道路の形状とかですね、そういったものが変わり次第、例えば、敷地面積のほうが広くなればですね、階数等でまたこちらにも検討していくというふうには考えたいと思います。ただ、今のところはこの条件の中での下面積ですので、上に積んだときというのはおおよそということで

御判断いただければというところでございます。

以上です。

○委員（野崎伸也君） おおよそということで理解いたしました。

もう1点、最後ですけど、スケジュールについて。当初からですね、第3期の市議会で特別委員会をつくってというようなことでやり始めたこの特別委員会ですので、基本設計が終わるまでというようなところですね、特別委員会の任期もそこまでというような話をしとりまして、幾度となく、私たちですね、任期が終わるまでには基本設計のほうきちっと出していたきたいというのを、何回も何回も言っていたことでもあります。ただ、今回提案されたように、かなりスケジュールが後のほうにですね、延びてきているというのがあります。いろいろとお話を聞いて、しようがないだろうなというふうな一定の理解は示すんですけども、最終的にこれまで言われとった庁舎の竣工というのが、これによって圧迫されるんですか、どうですか、これで間に合いますかという話なんですけど。今までずっと、間に合わん、間に合わん、早うしろ早うしろっていうことをずっと言われてきたもんですから心配をしておりますけれども。

○新庁舎建設課副主幹兼新庁舎建設係長（垣田治嗣君） スケジュールがかなり延びているということで、御心配いただいているところでもあります。実際、標準を置いていますのは32年の末です。まだですね、そちらのほうでスケジュールをしておりますが、現在のところ、今のままでいくと入らないだろうというのは考えられるところです。ただ、今後、この後、実施設計等も進めてまいります、そちらのほうでもですね、何とか少しでも完成の年度を早める、完成させる月を早めるために努力はいたしますが、現状では、もう既に間に合わないだろうな

というのは、非常に言いにくいんですけども実際のところでございますので、最大限努力をして、できる限りというところで頑張らせていただきたいと思いますので、何とぞ御理解をよろしく願いいたします。

○委員（野崎伸也君） わかりました。この場では御理解をしたいと思います。また、一般質問で質問します。

○委員長（前垣信三君） ほかにございませんか。

○委員（山本幸廣君） 今、野崎委員から質問があったように、この都市計画道路は専門部会で残った敷地についてということなんですが、ここは何平米ぐらいあるんですか。この残地は。

○新庁舎建設課副主幹兼新庁舎建設係長（垣田治嗣君） 道路と残地でおおよそ3000平米ぐらいとこちらでは見込んでいますところなんです。

○委員（山本幸廣君） 職員も含めてから、済んだところの敷地、公有地ですからですね、活用するようなですね、ことを考えていただきたいですね。これ、市民の土地ですからね。それだけはっきり言っておきますから。

○委員長（前垣信三君） ほかにございませんか。

○委員（成松由紀夫君） 確認です。今、道路がこう割り込んできとる部分でこれを見ると、今の駐車場のところは、もうほぼ道になってしまって、市民がとめよらしたところですね。で、横を見ると職員さんたちがとめよなったところもがっばりいって、今、山本委員の質問の中で、残地含めて3000平米ということになると、その、まあ、今から検討しなつてしようけど、やっぱり駐車場と今言いなつたごつ、やっぱり市民の皆さんのものであつて、その駐車場ががっばりなくなっているこの道路整備を見ると、そういったことは執行部としては、今どんな感じなんでしょうね。

○新庁舎建設課副主幹兼新庁舎建設係長（垣田治嗣君） 今、図のほうでは簡単に駐車スペースのほうをお示ししておりますが、北側の駐車場が大体150台程度を想定します。それから、少し、ちょっとわかりにくいんですが、南側のほうに緑のスペースがあります。こちらは一応、臨時駐車場として50台ほどはとれそうだとということで、今、計算をしているところでございます。おおよそ、八代市役所の閑散期の来庁舎、大体150台程度。ピークですね。それから繁忙期になると200台から250台ふえてまいります。現状でもですね、非常に駐車場は苦しいところではございますので、今後どうにかですね、敷地をうまく工夫しながら、市民の皆様がですね、いつ来てもちゃんととめれるような配慮はしたいと思っているところでございます。

○委員（成松由紀夫君） 今、言われたように、繁忙期150台云々というのがありますけど、これからですね、デザインをされていかれるんでしょうから。単純に見たときに、あれだけの駐車場のスペースがなくなってしまうなどという心配と、あと新庁舎にですね、一番思うところは、やはり防災機能の拠点ということで考えた場合にですね、車中避難、熊本地震のときに非常に多くて、市役所もだめ、総合体育館もだめというところで、結構、八千把のほうに来られたときに、小学校、中学校の駐車場がですね、とにかくいっぱいだったですもんね。

多分、先ほど言われた日奈久断層の割れ残りの部分で、専門家、有識者が言われているところですね、何十年か、近いうちに地震があるだろうというときに、地震が仮にあった場合に、やっぱり駐車スペースというのは、非常に重要になってくるなと経験上思うもんですから、そういったところの駐車スペースあたりは、しっかりとまた考えていただいて、絵が出てくることを期待しております。

以上です。

○委員（山本幸廣君） 続きなんですけども、都市計画道路のこの道路というのは、本町1丁目の橋本のボンネのところまで突き抜けて、もともとが都市計画道路をですね、球磨川のあそこまで道路は計画してあったと思いますよね。これを今の都市計画は、これだけ曲げてボンネのところまで。その先にどのような活用をですね、するのかというのは、はいっきり言ってから、そ計画性はきちっと今しとるんかな、土木関係の。何も意味がないと思うよな。何も関係しとらんやったら、この意味、これを曲げる必要なんもないわけだから。駐車場もめいっぱい、成松委員が言われるようにとれるわけですよ。そこはあたりはどうね。

○新庁舎建設課副主幹兼新庁舎建設係長（垣田治嗣君） 都市計画道の活用の意味としましては、現在ですね、建設部のほうでまだ協議をちょっとさせていただけてない部分が多いもんですから、こちらで御返答はできませんけれども、今後ですね、協議をさせていただいて、どういった目的、趣旨等ですね、持ってらっしゃるかというのは把握して、またこちらのほうでも御報告を差し上げたいと思います。

○委員（山本幸廣君） こちらあたりはですね、しっかりとですね、担当部と把握しながらですね。この都市計画道路の計画が認定されてから、もう40年ぐらいなると思うよ、私の記憶では。だから、それを活用するというのはですね、これだけ人口が減少していく中で、まちづくりの中でですね、どういう意味を、今、この道路が持つ意味というのをですね、考えたときに、このような道路をですね、わざわざ我が家の敷地ばですたい、真ん中ばですね、都市計画があるからそれをですね。計画の見直しというのは、こういう見直しをせないかんとですよ。再度ここは慎重にですね、審議してください、担当部と。そういう意見があったというこ

とは。何も意味がないですよ、これは。何も意味がない。

○委員長（前垣信三君） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（前垣信三君） 以上で、新庁舎建設事業の進捗状況と今後のスケジュールについてを終了いたします。

そのほかございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（前垣信三君） ないようですので、以上で、新庁舎の機能、規模、予算など新庁舎建設に関する諸問題の調査を終了します。

次に、閉会中の継続審査の件についてお諮りします。

本委員会の特定事件であります新庁舎の機能、規模、予算など新庁舎建設に関する諸問題の調査については、なお調査を要すると思いますので、引き続き、閉会中の継続審査の申し出をいたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（前垣信三君） 異議なしと認め、そのように決しました。

以上で、本日の委員会の日程は全部終了いたしました。

これをもって、新庁舎建設に関する特別委員会を散会いたします。

（午後4時35分 散会）

八代市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

平成29年6月5日

新庁舎建設に関する特別委員会

委員長